

2021 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人マナーズ
 代表者・役職名 氏名 理事長 宅間 佳代子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

入居児童用のベッド・収納設備整備事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

当法人は平成21年に法人を設立し、ボランティアで身寄りのない子どもたちをサポートして来ましたが、その事業を受けて平成25年4月からは、養育者の不在、もしくは家庭にいないことのできない青少年に健全で安心な生活の場を提供する施設「自立援助ホーム ハレルヤ・ファミリー」を開設いたしました。現在では「つくばこどもの家食堂」を活動に加えて、包括的なこども支援を行なっています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

ハレルヤ・ファミリーに入居する児童は、入居の際に自費で寝具を購入しますが、金額の安い布団セットを購入するため、部屋の床にそのまま布団を敷き生活を行います。布団を敷きっぱなしにしてしまう児童も多く、カビなどが発生してしまい衛生状態が良くない状況になることもあります。また児童部屋が狭く収納スペースが少ない状況です。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

入居児童(定員6名)の部屋に収納機能のついているベッドを設置しました。
 それに加えてマットレスやカバー等の付属品も合わせて購入しました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

収納付ベッドの購入・設置を行いました。予想以上に子どもたちから喜びの声が上がっております。カビなどが発生することもなくなり、衛生的にも清潔な環境で就寝することができるようになりました。ベッドがあることにより部屋が部屋らしくなり、子どもたちもより家庭的な環境で生活を行うことができているようです。特に収納スペースが増えたことにより部屋をきれいに使うことができているようです。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度まで

この度収納付きのベッドを購入させていただき、子ども達の部屋もだいぶ使いやすくなりました。狭い部屋を最大限利用して生活を行う必要があるため、今後も壁等に細工を行いながら収納スペースを増やすとともに、清潔な環境で生活を行うことができれば子ども達の声を聞きながら生活環境の改善をしていきたいと思います。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

